はじめに　3

序章　15

一章　明治維新　29

ねじれた変革　29
民衆の悲鳴　33
幕府の手づまり　34
一揆・打ちこわし　36
坂本竜馬の裏切り　42
朝鮮侵略の思想　46

二章　明治新政府　53

天皇をかつぐ　53

征韓論争 60
征韓論の根っ子 67
「反革命」の完結 70

三章 日清戦争 76
征韓のはじまり 76
奇襲で火ぶたを切る 82
旅順の虐殺 83
朝鮮侵略戦争 86
踏みつぶした夜明け 90

四章 日露戦争 99
帝国主義戦争 99
民衆同士が手を結ぶ時 109
忍従の哀しみ 114

一九〇五年の革命 123
明石大佐の後方撹乱 129
レーニンの友人 134
革命ののち 140

五章 東方の覇者 147
講和条約 147
日露兵士の抱擁 151
国民の軍隊 157
飽くなき抑圧 162
一旗組 169

終章 176

参考文献 182
おわりに 186